






カルテック農法 丹波黒大豆栽培ごよみ

株式会社 カルテック

(10アール当たり)

	前年秋 ~ 5月	6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	出来るだけ早めに	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
生育ステージ	地力づくり 施肥、深耕 排水対策	播種	定植		花芽分化期			開花始め	開花期	着莢期	若莢期	子実肥大期				成熟期			収穫
カルテック資材の管理要領	<p>【出来るだけ秋の内に】</p> <p>堆肥 500kg</p> <p>ラクト・バチルス 600g (硫安 20kgに混ぜて)</p> <p>化成肥料を施用する場合は硫安を使わずに、ラクト・バチルスを米ヌカで増量して、同時鋤込み。</p> <p>【定植前に】</p> <p>畑のカルシウム 40~60kg</p>	<p>濃縮酵素液の500倍を灌水</p> <p>根を張らせる資材です。根をしっかり張らせて、出来るだけ根粒菌も付けましょう。</p>			<p>畑のカルシウム 40kg</p> <p>カルテックCa液状 500倍の葉面散布</p> <p>花芽をたくさん付けるのが特長です。使用量は500倍液を150回程使うつもりで。</p>			<p>ラクト・バチルス 100gと硫安 10~15kg</p> <p>硫安等をボカシて作物に吸収させるのが目的です。硫安と混ぜて半日置いた物を、葉に露がついていない時に施用してください。</p> <p>④カルシウムが効いている事が条件</p> <p>カルテックCa液状 500倍の葉面散布×2回</p> <p>チツが効きすぎの時は散布回数を増やしてください。子実の肥大促進と青立ち予防。また、耐病性を付けるのが目的。</p>			<p>草勢が強い場合は、畑のカルシウム 20kg施用</p> <p>特に粒の肥大を目指す場合は、草勢を見ながら、硫安10~20kgを追肥する事もある。</p> <p>④土壌と草勢状況を的確にすること。硫安のやりすぎは、青立ちの原因になります。</p> <p>カルテックCa液状 500倍の葉面散布</p> <p>整粒歩合を良くし、品質向上が目的。また、耐病性を付けるのも目的。</p>								
備考	安定多収には地力チツが多く必要です。出来るだけ秋の内に地力を作る方が良い。	この頃、最もカルシウムを必要とします。			この頃、最もチツを必要とするので追肥で効果が期待できます。また、 水も多く 要求されるようになります。			病害虫の予防と稔実向上に努めましょう。											

 <p>1.25kg 入り</p> <p>2.5kg 入り</p>	 <p>10kg 入り</p>	 <p>1リットル入り</p> <p>10リットル入り</p>	 <p>1リットル入り</p> <p>10リットル入り</p>
<p>ラクト・バチルス</p> <p>土（地力）づくりをする微生物。生の有機物なども土に混ぜて、土ごと醗酵させます。また、この微生物で悪い菌の繁殖を抑える効果も期待できます。</p>	<p>畑のカルシウム</p> <p>カルテックCa粒・粉状と同様、多種のミネラルを含み、味、質を高めます。また、酸性気味の土壌も調整できるので、酸性を好まない大豆に最適です。</p>	<p>濃縮酵素液</p> <p>根を強くさせます。発根作用が促進され、根粒菌の増殖にも役立ちます。定植時に使用するのが効果的です。立ち枯れ、青枯れ等に効果があります。元気を付けたいときに効果あり。</p>	<p>カルテックCa液状</p> <p>液体の特殊カルシウム資材です。花芽を多く着けさせ、作物の健康維持に役立ちます。青立ち防止と登熟促進の効果があります。</p>

